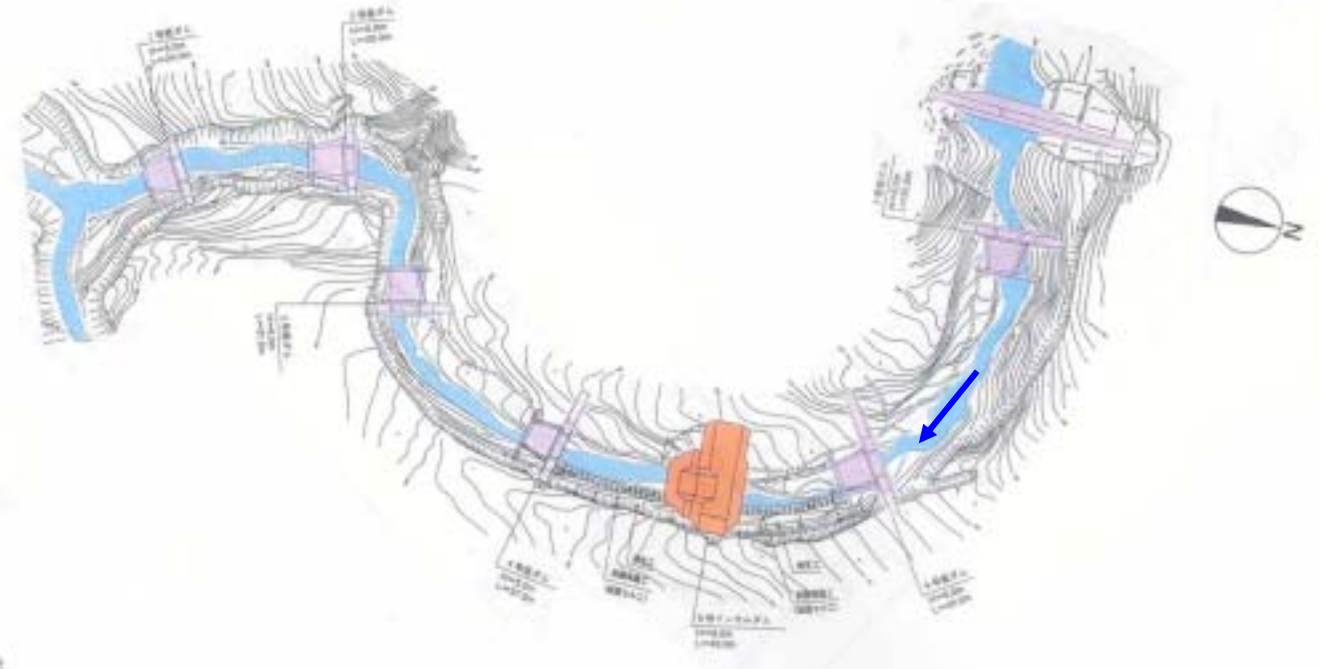


西滝ヶ谷5号低ダム（六甲砂防） (1 / 2)

施設諸元

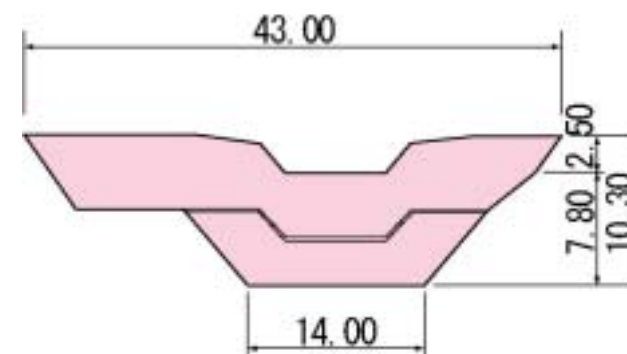
項目	内容
施設名・(施工年度)	西滝ヶ谷5号低ダム(H10)
事務所名	六甲砂防事務所
採用工法	INSEM
工法採用理由	堰堤等工事により発生する建設発生土について ・ 抛出先が少ない ・ 運搬処分費が高い
活用部位	砂防堰堤全断面
規模	長さ L=43m 高さ H=5.0m
打設量	831 (m ³)
地形状況	流域面積 A=1.5km ² 、溪床勾配 L=1/9、谷幅 B=5 ~ 10m
室内目標強度	$\sigma_1=6\text{N/mm}^2$
強度決定根拠	-
単位セメント量	160 kg/m ³ 以上
単位水量	-
最大骨材寸法	80mm
ふるい分け	スケルトンバケット
混合方法・機械	スケルトンバックホウ
混合時間・混合量	15 分以上
敷均し機械	スケルトンバックホウ (0.4m ³) ブルドーザ (D20)
敷均し層厚	20cm 以下
転圧締固め機械	振動ローラ (3t) タンパ (80kg)
転圧回数 (有振動)	8 回以上
転圧後リフト厚	15cm
日平均打設量	-
打継目処理 (垂直)	-
打継目処理 (水平)	セメント 0.5kg/m ² 程度散布
型枠形式	なし
打設規制 (気象条件等)	降雨制限 4mm / h 以上
目地切り	-
養生	普通コンクリートと同じ養生 (冬期は熱養生 5 以上) 表面養生シート)

実施場所

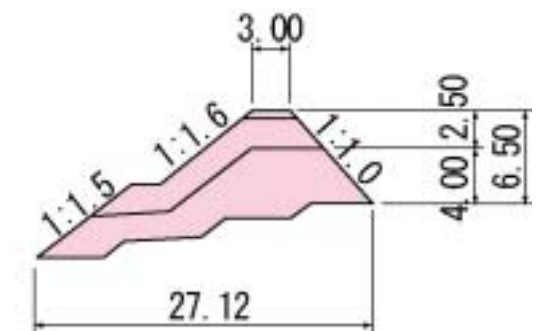


適用部位

正面図



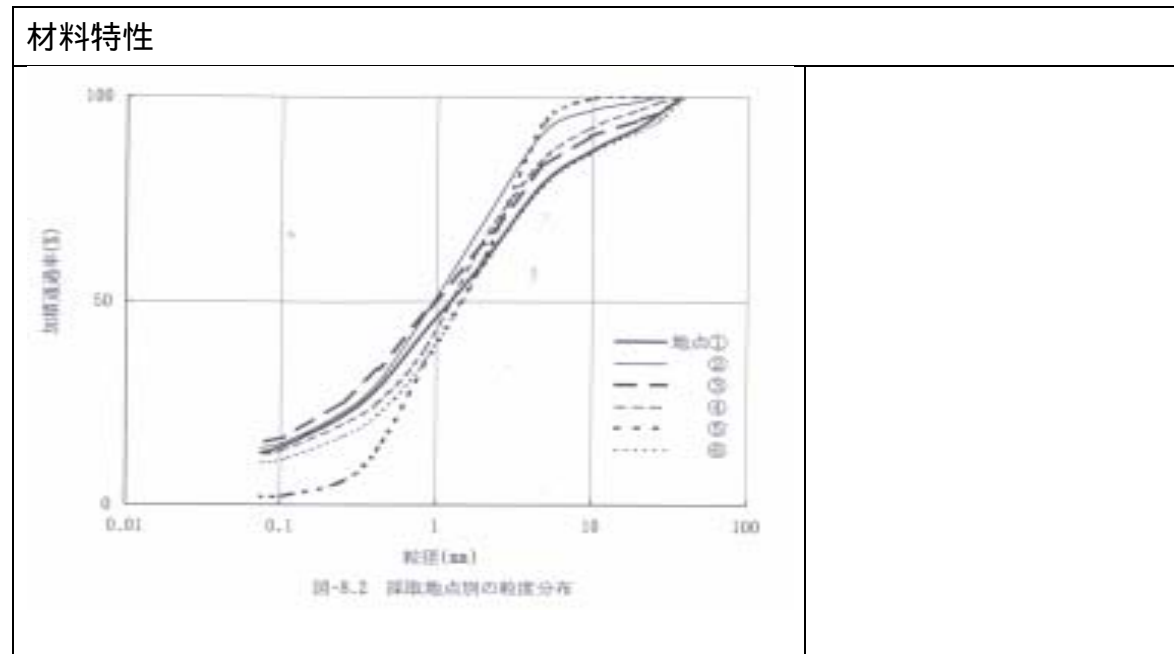
断面図



西滝ヶ谷5号低ダム（六甲砂防）

(2 / 2)

材料特性



施工管理

項目		手法：実施時期、頻度：基準値
配合管理	使用セメント量	-
	投入土砂量	-
攪拌混合	加水攪拌時間	-
	混合時間	15分以上
	混合状況	目視による一様変色
撒出し・敷均し	敷均し厚さ	19cm
	敷均し時間	混合後～敷均し後まで30分以内
転圧・締固め・打設	締固め回数	8回
	締固め時間	混合後～締固め後まで2時間以内
	締固め状況	-
	沈下量の測定	-
	締固め後の厚さ	-
	打設量	-
	打込み温度	-
	単位体積重量	1.90t/m ³ 以上：工期内3回
施工条件	降雨量制限	毎日
	気温	毎日

配合諸元

目標強度	セメント量	水セメント比 (W/C)
6N/mm ²	160kg / m ³ 以上	8～13%

品質管理

項目		管理・試験方法	頻度：基準値
施工中	材料	ふるい分け	工期内3回(初、中、終): 径1mm以下が50%以内、径0.074mm以下が15%以内
	材料	含水比(率)	毎日1回：8～13%
混合後	混合後	フェノールフタレイン散布	毎日1回：一様に変色
	混合後	中和滴定法	工期内3回：150kg/m ³ 以上

特記事項

低ダム群の1基を全断面砂防ソイルセメントで施工した事例である。当堰堤は現在、摩耗の調査を実施中で、年間1～2mm程度の摩耗が見られるようである。構造物本体で流水にさらされる部位に使用しているため、今後砂防ソイルセメントの強度等検討のため摩耗量の追跡調査等のモニタリングを行うことが望ましい。

西滝ヶ谷5号低ダム(六甲砂防)

(写真)



ソイルセメント打設時



現況



施工完成後

